

バイオマスタウン構想分析DB

[【リンク】道志村バイオマスタウン構想](#)

公表回	公表年月日	構想見直し		都道府県名	市町村名	人口	面積
		公表回	公表年月日			(人)	(km ²)
36	2009.7.31			山梨県	道志村	1,999	79.57
構想の要約		道志村は水源かん養林の保全のための間伐促進と林地残材の活用や、生ごみ、浄化槽汚泥及び家畜排せつ物の処理という二つの課題を解決するため、未利用資源活用の木質系バイオマス事業に取組み、たい肥、燃料チップ、バイオエタノール等を製造するための変換施設を段階的に整備し、地域社会を豊かにする「循環型社会」を構築する。					
構想に盛り込まれた事業		1)生ごみ等のたい肥化 2)廃食油等のBDF化 3)間伐材のバイオエタノール化					
バイオマス利活用目標		添付別紙参照					
バイオマスタウン構想概要図		添付別紙参照					

利用するバイオマス						
廃棄物系バイオマス		未利用バイオマス			資源作物	
家畜排せつ物	○	稲わら・もみがらなど			資源作物	
農業系廃棄物(廃菌床など)		野菜等非食部				
食品廃棄物	○	間伐材・林地残材		○		
廃食用油	○	果樹剪定枝				
水産加工残さ		竹材				
製材工場等残材		その他()				
建設発生木材						
街路樹・公園・家庭剪定枝、刈草	○					
古紙・廃棄紙						
下水汚泥など	○					
その他()						

利用するバイオマス変換技術			
マテリアル利用のための変換技術		エネルギー利用のための変換技術	
堆肥化(土壌改良材・肥料を含む)	○	バイオガス化(メタン発酵)	○
飼料化		直接燃焼	
バイオマスプラスチック製造		ガス化	
その他()		炭化	
		固形燃料化(チップ・ペレット・RDFなど)	○
		バイオディーゼル燃料化	○
		バイオエタノール化	○
		その他()	

バイオマスタウン実現に向けた取組の進捗状況	
記入年月日	記事

実現した事業	添付別紙参照
--------	--------

バイオマス利活用目標
(バイオマスタウン構想書からコピー)

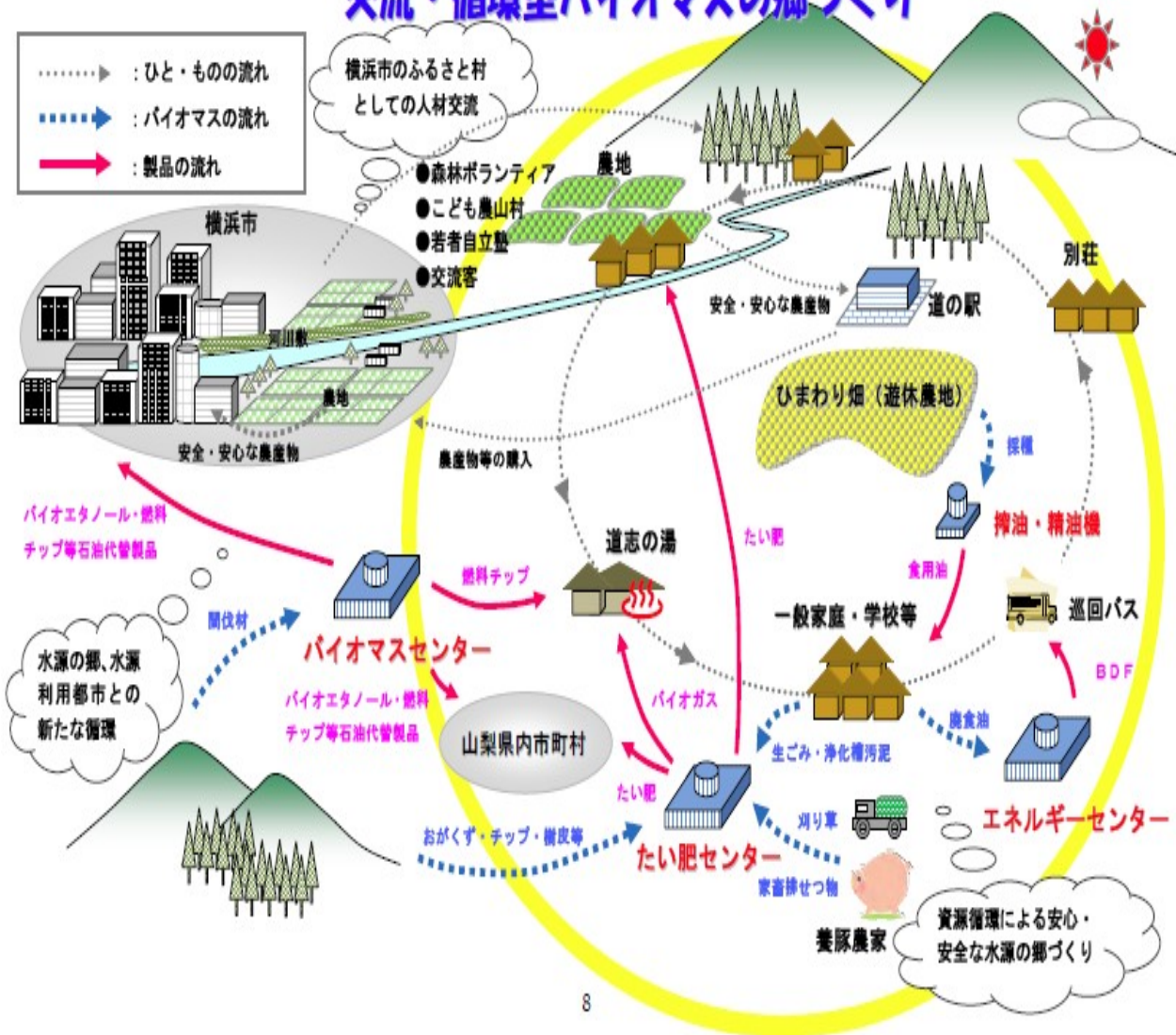
バイオマス	賦存量 (t/年)	炭素換 算数量 (t/年)	現在の 変換・処理方法	現在の 仕向量 (t/年)	将来の 変換・処理方法	将来の 仕向量 (t/年)	炭素換 算数量 (t/年)	将来の 利活用率
廃棄物系バイオマス								90%
廃食油	0.765	0.546	未処理	0	BDF化	0.765	0.546	100%
生ごみ	85	3.757	たい肥化 (未利用分は 埋込み)	10	たい肥化	85	3.757	100%
家畜排せつ 物	1,700	101.439	たい肥化 (未利用分は 埋込み)	850	たい肥化	1,530	91.295	90%
浄化槽汚泥	1,200	115.2	他の自治体の し尿処理場等 で処理	0	たい肥化 バイオガス化	1,081	103.796	90%
未利用バイオマス								40%
間伐材	200 (利用可 能量)	16.36	未処理	10	チップ化 バイオエタノー ル化	80	6.544	40%
刈り草	20	4.351	焼却	0	たい肥化	8	1.74	40%

バイオマスタウン構想概要図

(バイオマスタウン構想書からコピー)

【全体のイメージ図】

日本一の水源を守り、育む、 交流・循環型バイオマスの郷づくり



実現した事業(その1)

事業の名称	
事業者名	
事業所名	
住所(施設の所在地)	
利用するバイオマス	
利用する変換技術	

事業の概要	添付別紙(パンフレット等)参照
	(事業形態、事業構成メンバー、出資比率、事業開始時期、施設の概要、プラントメーカー、建設業者、イニシャルコスト、ランニングコスト、原料単価、製品単価、経営状況、事業運営の課題、成功・失敗要因など記入)